

定 一 部 金 武 銭
一 月 刊 五 十 銭
一 年 刊 五 百 銭
一 部 金 武 銭
一 月 刊 五 十 銭
一 年 刊 五 百 銭

廣 告 費 五 十 銭 一 行
日 刊 五 十 銭 一 行
日 刊 五 十 銭 一 行

福 島 縣 石 城 郡 平 町 長 橋 町 三 五
發 行 所 常 警 毎 日 印 刷 所
電 話 六 三 〇 番

日 刊 發 行 所 常 警 毎 日 印 刷 所
電 話 六 三 〇 番

川 崎 文 治

本 社 下 同 番 地 （電 話 六 三 〇 番）
印 刷 所 常 警 毎 日 印 刷 所

常 警 新 聞

刊 夕 日 一 十 月 六

寄 書

二つの念願 (二)
朝 鮮 佐 田 至 弘

如何にしてこれを救つたら
よいか如何にして家庭愛を
深めたらよいか

昔風の理屈で教訓して見た
處かもう現代人は振向いて
は呉れない時代になつてお
る

茲に於て私は日頃お互の家
庭を子供中心で生活せよと
極力主張してゐるのである

一步進んで言ふならば童心
への復歸である

凡そ夫婦の誇りとするもの
は子供を養育することであ
つて、これが人類初つて以
來の家庭の根本である

それがいつしか忘れられや
うとしてゐる時勢になつた
このことは誰れもが認識し
すぎてゐるに拘らず荒んだ
現代なのである

この考へを再びはつきりと
引出させることがわれわれ
の急務である

若い頃は肉體的で（それが

相愛の成績を占めるからそ
れも必要かも知れないが）
年と共に靈的に變らなけれ
ばならない

二人の間に同一の信念を持
たねばならない

「六十にして初めて夫婦の
愛を感じた」と云ふ人もあ
る位だ、その人は「信念が同
じになつたから」と云つた
そうだがこれは實によい教
訓だと思ふ

私は今の若い夫婦にその氣
持を早く知らせたいと思
ふ

蓄音器・貴金屬
會 田 時 計 店
平 町 四 (電 三 三 三)

理想的耐水耐熱接合劑
キングパスト

○水が微温湯で溶せばすぐ
使へる簡単な接着劑
一名コナニカワ
○四季を通じ一度ついたら
膠着力は絶對的です
○理想的完全耐水耐熱の可
驚威力を發揮し防腐の効
果著し

小野屋藥店
電話一四四番

常 警 文 藝

詩 靜かな宵
Y. A. 生

靜かなる
心持て
踏まん若草の
こよなき感觸よ
そよ風
うなじを流れ行く
靜かな今宵
君が
ゆかしき三味の
根柢ぞ聞く
靜かな今宵

東京行進曲
目下……
帝都流行の
ジャズソング

波浮の港の歌手
佐藤千夜子嬢が
心地良き
管絃團伴奏で
ビクターレコードに

内 科、小 兒 科、花 柳 病 科

藤 沼 醫 院

入 院 需 應

平 町 紺 屋 町
電 話 四 平 五 〇 七 番

時 計 貴 金 屬 眼 鏡 各 種
蓄 音 器
ビクターレコード

新荷着是非御用命を
金 光 堂 時 計 店 へ
電 話 七 三 三 六 番

時 計、蓄 音 器、修 繕 大 勉 強

高 久 病 院

院 長 醫 學 士 高 久 忠
副 院 長 新 潟 醫 學 士 赤 羽 清
藥 局 長 藥 劑 師 佐 竹 菊 雄

平 町 田 町 電 話 五 一 三 番

正確な体温計 関内藥局
寒暖計 電四〇番

全 遠 販 の 平 町 紺 屋 町 常 警 毎 日 印 刷 所
平 町 紺 屋 町 (縣 社 通 り)
オノ部 電 話 四 六 〇 番

美味 評判 イノキ食堂
オノ部 電 話 四 六 〇 番

御進物には
ヤマフルの商品券が一番

醬油味噌
たひら正宗
鯉節食料品

鹽 屋
山 崎 合 名 會 社

福 島 縣 平 町
電 話 (營 業 部) 一 〇 番
(製 造 工 場) 二 七 番

平 町 紺 屋 町 常 警 毎 日 印 刷 所
常 警 眼 科 醫 院

× 光 線 新 設 物 理 學 的 診 療 法
主 任 醫 學 博 士 難 波 睦

衛 生 試 驗 所 技 師 中 西 藤 慶 造
衛 生 試 驗 所 技 師 小 熊 英 夫
藥 局 長 吉 本 孝 平

一、衛 生 試 驗 所 (共 濟 病 院 內)
二、病 氣 相 談 所 (共 濟 病 院 內)
三、救 療 所 (共 濟 病 院 內)

○入院自炊ノ便アリ
○看護婦見習募集

共 濟 病 院
平 町 (電 話 六 四 一 番)

內 科 小 兒 科 (院 長 毎 日 診 療)
院 長 醫 學 博 士 難 波 睦
副 院 長 醫 學 士 五 十 嵐 雄 二
內 科 部 長 中 西 林 藏
外 科 內 臟 外 科 レントゲン科專門
外 科 部 長 醫 學 士 氏 家 憲 介
(毎 日 曜 手 術) 醫 學 士 桂 重 次
產 婦 人 科 女 子 泌 尿 科
產 婦 人 科 部 長 五 十 嵐 雄 二
醫 學 士 顧 問 醫 學 博 士 川 添 正 道
本 院 醫 事 法 學 士 岡 賀 澤 忠 治
法 制 囑 託 主 事 賀 澤 忠 治
本 院 主 事 賀 澤 忠 治
電 話 七 二 番

再度試みる…… 竹馬の富士登山

白銀青年團の花澤輝一君
生卵で元氣を恢復

平町白銀青年分団体育部長
員花澤輝一君は昨年未だ曾
つて何人も企て及ばなかつ
た竹馬の富士登山を試み午
前四時に麓を

出発し 途中五合目
で廿分間、八合目で一時間
休憩をとつたのみで午後三
時卅六分廿秒無事に頂上に
達し少しも疲れを見せず更
らに頂上を一週し世人をア
ツと云はせたが本年七月下
旬を期して再度此事を試み
るべく計画中にて加勢知事
始め縣下知名の士續々と應
援を惜まず東京日日新聞社
は活動寫真に撮影して永久
に記念する

手筈を 整へて居る
と因に花澤君は語る「竹馬
登山に依つて自己の体力を

頂上を 一週して竹
馬を降りました時は全く今
迄の緊張味が一時にゆるみ
ました爲めか暫くは放心状
態に陥りましたが附添の者
から三個の卵を貰へ受けま
して是れを飲みました處一
時に元氣を恢復しました生
卵が体にきく事は以前から
聞いて 居りました

か此時位へ生卵の有難さを
感じた事はりません」

救護法の適用者は 平町に僅か六七名

救護不徹底のうらみ

貧困者救護法案が今回議會
を通過したがこの救護法に
該当するものは六十五歳以
上にして
扶養の 義務者なき
者或は産婦妊婦にして扶養
者なき者にこれが適用され
るが救護方法は一人一日の
普通生活費を算定し毎月實
際的生活に要する生活費を

支給するのであつて費用支
辨は町村費負擔半額國庫支
辨即ち町村國庫から
各半額 を負擔する
ものであるが平町を初め石
城郡各町村では縣の通牒に
基き調査を行つてゐるがこ
れが適用は極めて僅少で平
町で六七名位その他各町村
は一二名にすぎない模様で

春蘭初取引 未だ安い見込

平町の

石城地方の春蘭は目下一般
の上簇中で蘭の出盛りは來

貯炭が増加し 炭礦益々苦境

制限率を高めるか

常磐各炭礦が難況打開のた
め續行中の出炭制限は相當
効果を收めてはゐるが價格
關係で採算の立たぬ粉炭の
處分には 各礦共大
弱りで最近に於ける右制限
協約委員の調査結果は左記
の如く常貯に比して約五萬
噸を増加する十五萬九千九
噸の總貯炭高に達し之がた
め從來の一割制限に五分増
を唱へられるに至つたが各
礦の

現状より 該制限率
の増加は容易でなく要する
に貯炭總高の増加は無煙粉
に原因してゐるので此の處
分の善後策を如何にするべ
きか問題になつてゐる模様

この端午の節句といふの
は端は初め、午は五と音
が通じ、初めの五日と意味
です、また五月五日と五
が重なるので重五ともい
ひますが、菖蒲を節物と
することから菖蒲の節句
とも呼ばれてゐます。こ
ころでこの端午の節句は

し租の上でよく叩き小皿に
びつたり張りつけておきま
す。淺草のりはよくあぶり
横二つに切つておきます、以
上の用意が出来ましたらば
簾の上にのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
々と向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛



鐵化巻

わさびは黒のぼつ／＼をこ
そげ落し葉附の方から目の
こまかい擦金で靜かにおろ

可なり古くから行はれて
きた風習でその昔神功皇
后が三韓征伐遊ばされて
凱旋された時、皇子がお
生れになつたおよろこび
の餘り、旗ノボリを立て
、皇子の御武運長久を祈
らせられたのがそも／＼の
初まりであるといはれ
ます、もちろんその頃は
五月五日と限られてゐた
ものではなかつたのです
がその後今から一千百二
十餘年前光仁天皇の天應
元年蒙古賊襲來に際し追
討大將軍第二皇子早良親
王は山城國紀伊郡藤森神
社へこもつて御祈願の上
御出陣遊ばされたが時あ
だかも五月五日神風にあ
かき起つて、賊船こと
／＼全滅しめでたの凱
旋されたのでその後武家
では毎年五月五日を期し
て具足、太刀、ヤリ、ノ
ボリ等の武器を飾つて武
運長久を祝福したもので
あつたが武家に限らず商
家、農家も次第にこれを
まねるやうになつたのだ
といひます

神功皇后の故事から

この端午の節句といふの
は端は初め、午は五と音
が通じ、初めの五日と意味
です、また五月五日と五
が重なるので重五ともい
ひますが、菖蒲を節物と
することから菖蒲の節句
とも呼ばれてゐます。こ
ころでこの端午の節句は

し租の上でよく叩き小皿に
びつたり張りつけておきま
す。淺草のりはよくあぶり
横二つに切つておきます、以
上の用意が出来ましたらば
簾の上にのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
々と向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

疑心暗鬼は…… トンダお茶番

選舉戦後日談 (下)

百五十圓の紙幣束を懐中に
ねぢ込んで戸外に飛び出し
義一青年は、誰れ彼れの
差別なく「コレで選舉運動
をやろんだ」と紙幣ピラ切
つて歩くのであつた、此の
不景氣 に鼻ツ先で
手の切れさうな紙幣の束を
見せ付けられた面々が、毒
氣を吹ッ掛けられたガマ藁
の様に眼をデンダリ返して
プツプツグダのは勿論の事
である、義一青年には是れ

が痛快でならなかつた、彼
れは胸元にクツ／＼とこみ
上げて來る笑へを噛み殺し
ながら
紙幣束 の匂を嗅が
す事に依つていろ／＼に變
る人の顔の面白さに我れを
忘すれた、斯くして興に乗
じた、彼れは顔馴染の南町
の茶屋女に迄、使はぬ紙幣
ピラを手際よく切つて見せ
た。義一青年が斯の様にし
て紙幣束を見せ置く事は、

彼れの茶目性から出た
戲惡で ある事は云
ふ迄もないが又一面、彼れ
は選舉の話役者を以つて任
する事に依り自分の信用程
度を高めやうと圖る單純な
考へを持つて居た事も見免
せない。義一青年は、充分
その匂を
放散し てお役目濟
みとなつた見せ金の紙幣束
を卅一日の朝何食はぬ顔で
荒川氏夫人に返した、而し
單に「見せ金」であつた事
實を知らない世間では、其
儘に其事を濟さうとはしな
い、噂さは
噂さを 生んで八方
に擴がり、百五十圓の紙幣

可なり古くから行はれて
きた風習でその昔神功皇
后が三韓征伐遊ばされて
凱旋された時、皇子がお
生れになつたおよろこび
の餘り、旗ノボリを立て
、皇子の御武運長久を祈
らせられたのがそも／＼の
初まりであるといはれ
ます、もちろんその頃は
五月五日と限られてゐた
ものではなかつたのです
がその後今から一千百二
十餘年前光仁天皇の天應
元年蒙古賊襲來に際し追
討大將軍第二皇子早良親
王は山城國紀伊郡藤森神
社へこもつて御祈願の上
御出陣遊ばされたが時あ
だかも五月五日神風にあ
かき起つて、賊船こと
／＼全滅しめでたの凱
旋されたのでその後武家
では毎年五月五日を期し
て具足、太刀、ヤリ、ノ
ボリ等の武器を飾つて武
運長久を祝福したもので
あつたが武家に限らず商
家、農家も次第にこれを
まねるやうになつたのだ
といひます

神功皇后の故事から

この端午の節句といふの
は端は初め、午は五と音
が通じ、初めの五日と意味
です、また五月五日と五
が重なるので重五ともい
ひますが、菖蒲を節物と
することから菖蒲の節句
とも呼ばれてゐます。こ
ころでこの端午の節句は

し租の上でよく叩き小皿に
びつたり張りつけておきま
す。淺草のりはよくあぶり
横二つに切つておきます、以
上の用意が出来ましたらば
簾の上にのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
々と向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

よりはお飯をすこし薄くの
ばしませんが、お魚がごろ
／＼してきれいに出来上が
りません。そして眞中に
少しくばみをこしらへそ
へわさびを少し敷その上
に餛飩をのりを置きその上
に餛飩を二分厚さに手前少
くと向ふ側五分位を残して
平にのばします、この餛飩
ののばし具合は普通の巻餛

明日の天気
北東の風
次第に雨
模様